

電気火災に注意しましょう！！

令和5年の全国建物火災件数は20,968件で、そのうち電気機器と配線器具が原因の火災が2,994件発生しています。生活に欠かせない電気ですが、一歩間違えると火災につながります。大切な命を守るため身の回りの電気関係をもう一度確認しましょう。

電気機器の注意点

- 使用する前に、電気製品の取扱説明書をよく読みましょう。
- 使用していない電気製品の差込みプラグは、コンセントから抜いておきましょう。
- 故障した場合は、自分で分解せず、専門の業者に修理を依頼しましょう。
- 電熱器等の電気製品の周囲には、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 長年使用していなかった電気製品を使用する場合は、埃の堆積や金属部品の腐食などに注意し、使用前に専門の業者に点検を依頼して、安全を確認してから使いましょう。
- 長年使用している電気製品は、経年劣化や異音など、定期的に異常の有無を点検しましょう。



配線器具の注意点

- 差込みプラグを抜く際は、コード部分を持って引っ張らないで、プラグ本体を持つようにしましょう。
- 差込みプラグは、コンセントとの間に緩みがないか点検しましょう。定期的に掃除しましょう。
- コードが、家具などの下敷きになったり、押しつけなどにより傷ついたりしないように注意しましょう。
- コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用したりしないようにしましょう。
- コンロの上方など、コードが加熱されるような場所での使用はやめましょう。
- コンセントやコードには、使用できる電気量に制限があります。電気量を確認して使用しましょう。
- コードを延長するために、コード同士をねじり合わせて、直接つなげて使用すること（手より接続）は危険です。コードに不具合が生じた時は、専門の業者に点検を依頼し、修理してから使用しましょう。

